

県産材活用

木造建築コーディネートの事例

令和6年度 第5回市町村林務担当職員研修

茨城県産材普及促進協議会
2025/02/20



Copyright All rights reserved.

1

茨城県産材普及促進協議会のメンバーと活動

森林部会

製材部会

木材部会

建築家部会

街づくり部会

木育部会



研究開発 ~ マンション用内装材開発



消費者向け 森林ツアー



消費者向けワークショップ



街づくり



安定供給
~ 備蓄倉庫整備



プロ向け勉強会
~ 山道の作り方



テキスト製作
~ 中大規模建築物、改正省エネ



木育広場開催

Copyright All rights reserved.



里山住宅博 in TSUKUBA 2019

6月1日 - 11月30日

Copyright All rights reserved.

■住宅地計画

- ・茨城県の魅力向上に伴って、地域の材料や特産品を生かした住宅地を計画したいという要望が増えている。
- ・県産材に加え地域の特産品を生かしたプランや差別化を提案
- ・市場ニーズや行政イメージに合わせたイベント提案

■植樹祭

～分譲地内に里山を作る

- ・つくば市内の小学校に公募して、50組の親子が参加
- ・茨城県森林・林業協会と連携し、常陸太田森林組合の皆さんが参加者を指導。
- ・今でも参加者親子が成長を見に来て草取りをしている。



Copyright All rights reserved.



Copyright All rights reserved.

2、中大規模建築物の木造化・木質化



Copyright All rights reserved.

高層建築物へ対応

・現在は省CO2や循環型社会への転換に向け、上場企業は中高層建物の木造化を進めています。

・茨城県も関東圏への木材供給基地として、中高層建築物向けの商材を開発、供給しています。

・茨城県の木材技術の高さは高く評価されています。

・昨年11月には、東京新橋の日本テレビ本社並びに鉄骨と木材の混構造6階建ての商業ビルが着工しました。この木造部分には茨城県産材が活用される予定で、現在加工工場への納品が進んでいます。

このビルの3～6階の構造は、

750ミリ×450ミリ×6メートルの茨城県産杉BP材

600ミリ×600ミリ×8メートルの茨城県産杉集成材で構成されます

・右の写真は150角柱を5段×5層重ねて

750ミリ×750ミリ×8mの柱・梁になる材料です。



茨城県サプライチェーンマネジメント



- 主要団体が参加することによって、物件毎に適応するSCを構築できる体制を構築。
- 各団体の長と一級建築士がコーディネーターを担う。

川上/茨城県認定事業者連絡協議会
 川中/茨城県木材協同組合連合会
 川下/茨城県産材普及促進協議会



自由な設計とコスト低減をかなえるSCM活用



■日立市 無垢材のモニュメント



■日立市 幼稚園 (162.3㎡)



■つくば市 児童クラブ (800㎡)



■筑西市 幼稚園 (約1000㎡)



Copyright ©茨城県産材普及促進協議会 All rights reserved.

発注者・設計者のための 2つのコーディネーター派遣制度

- ①木造建築コーディネーター
- ②木材活用コーディネーター



Copyright ©茨城県産材普及促進協議会 All rights reserved.

茨城県補助でコーディネーターの派遣は原則無料

茨城県建築物木造化サポート事業



Copyright ©茨城県産木材普及促進協議会 All rights reserved.

11

①木造建築コーディネーター制度

■支援内容

1、企画・計画支援コース

- ・木造化の実現性調査
- ・非木造とのコスト比較
- ・プロポーザル支援
- ・森林環境譲与税の利用アドバイス

2、設計業務支援コース

- ・架構方法や木材断面等の最適化による
コストダウン
- ・構造計算支援

3、発注等支援コース

- ・県産木材の材料調達調整
- ・検査立ち合い

■茨城県委託事業

- ・申請窓口 茨城県林政課
- ・相談窓口 茨城県林政課・営繕課
- ・市町村営繕担当者会議でのアンケート、
設計事務所へのアンケートをもとに
細部の制度を構築

■実績

つくば市	保育園・児童クラブ
古河市	幼稚園
牛久市	認定こども園
大子町	庁舎
日立市	モニュメント・こども園
筑西市	こども園
常総市	IC周辺整備事業
守谷市	こども園
常陸大宮市	支所
茨城県	障がい者施設・学校
神栖市	道の駅



12

Copyright ©茨城県産木材普及促進協議会 All rights reserved.

例：企画・計画支援コース

■常陸大宮市様

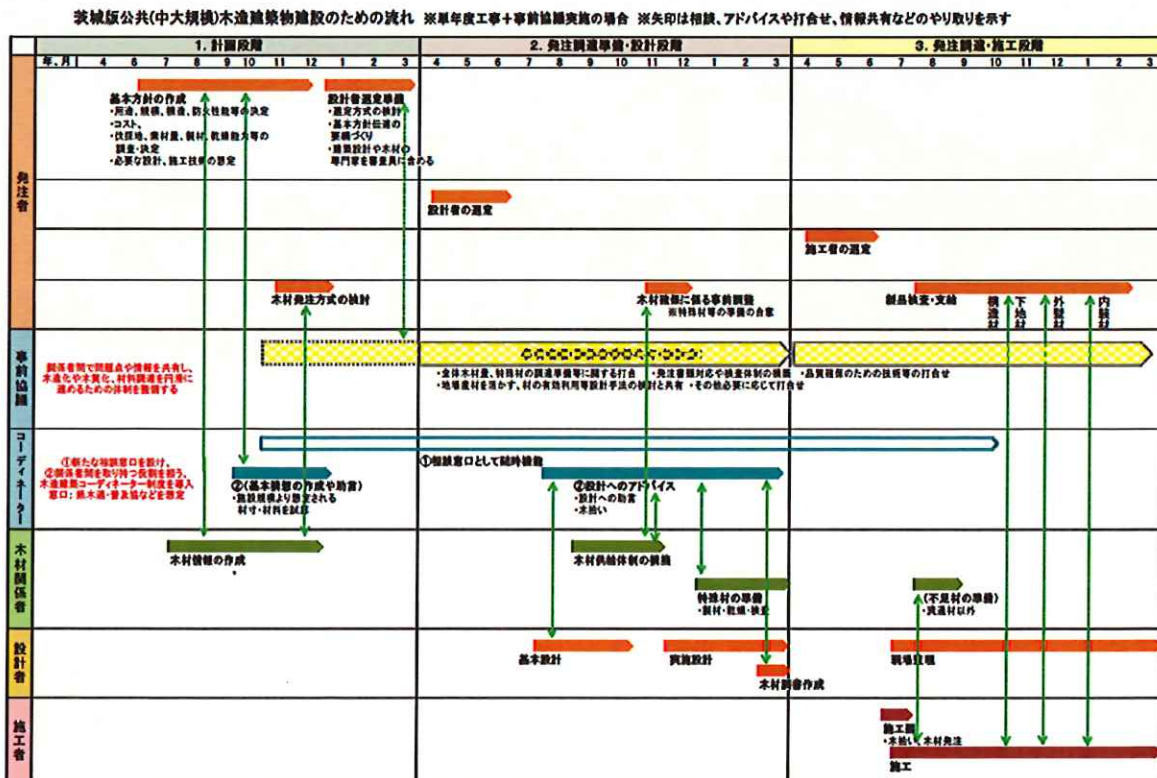
木造でのプロポーザル支援

- ・公募型簡易プロポーザル募集要領 雛型を提供
- ・茨城県営繕課様と連携し、対象物件や個別の行政ニーズに応じたプロポーザル計画の支援

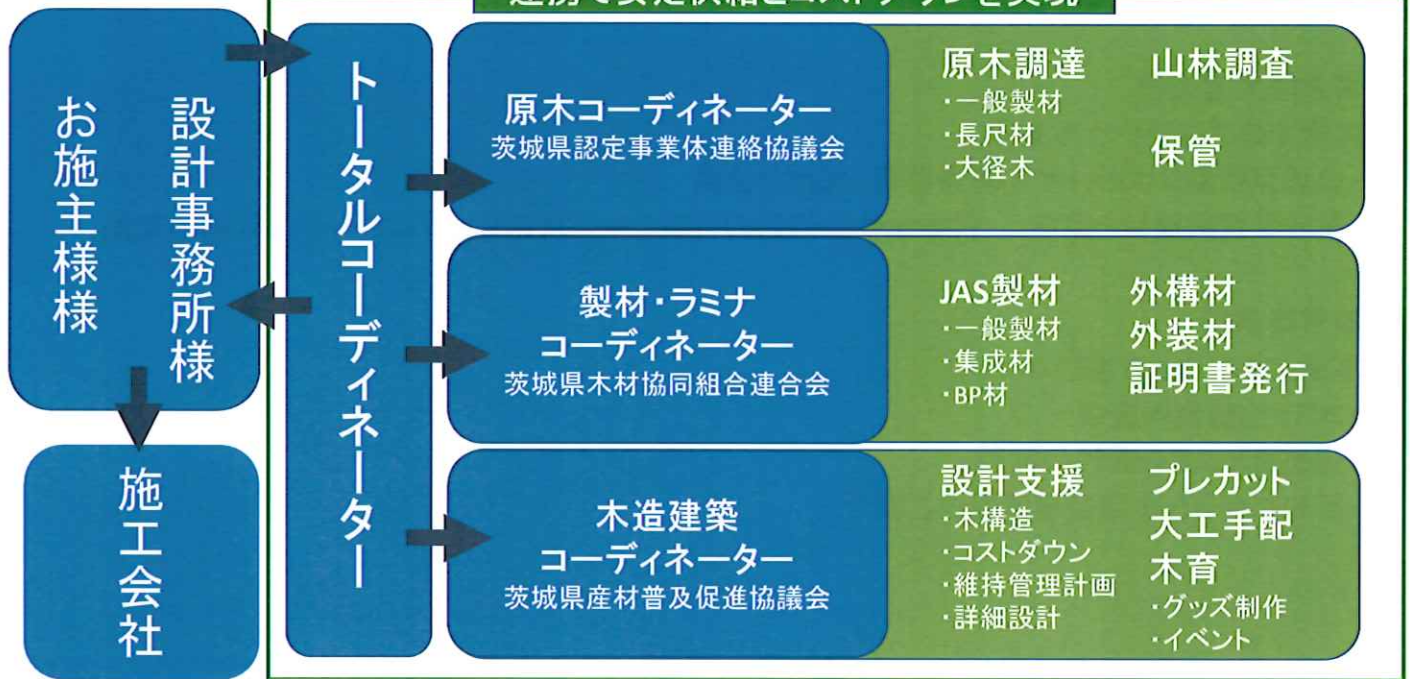
■常総市様

木造と非木造との検討

- ・コスト比較資料提供
- ・避難所としての適性の検討
- ・目的に合った木構造事務所のご紹介



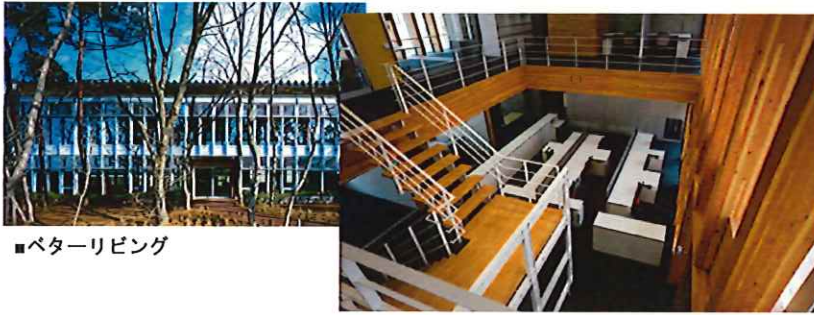
連携で安定供給とコストダウンを実現



茨城県立
あすなろの郷



県産材を活かした建築



■くくや台幼稚園



■わかばキラメキ幼稚園



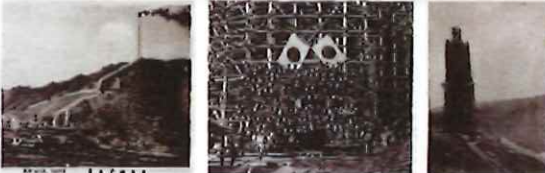
Copyright ©茨城県産材普及促進協議会 All rights reserved.

日立市青少年育成協議会様と日立市様の連携

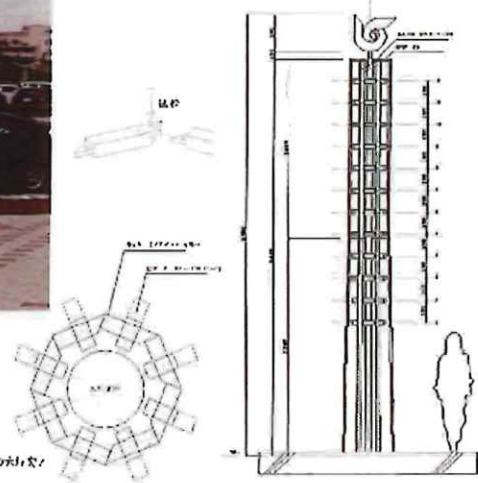
～日立市産材を地域伝統技術と最新技術で活かす～



本計画を遂行し、数回にもわたって大規模な市民の参加を実現することができた。
 建設現場の開放の計画は、市民の参加を促進するための目的。
 本計画は、市民の参加を促進するための目的。建設現場の開放は、市民の参加を促進するための目的。
 本計画は、市民の参加を促進するための目的。建設現場の開放は、市民の参加を促進するための目的。
 本計画は、市民の参加を促進するための目的。建設現場の開放は、市民の参加を促進するための目的。



イメージ、市民の参加を促進するための目的



大子町庁舎+地域経済発展

～コストダウン・町産材活用と販促・補助金活用～

大子町庁舎【5,000㎡】

木造化～8m400本を含む製材+集成材+BP材

県産材補助金利用

設計事務所と連携。木構造の難易度が高い



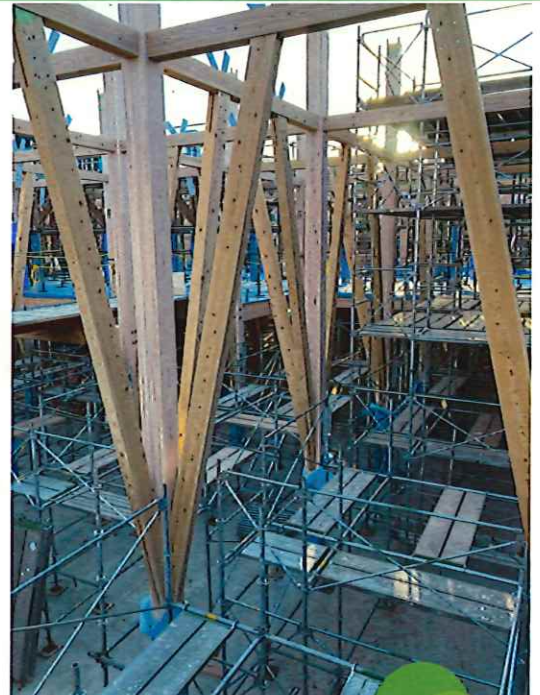
長尺材調査



物件用土場



設計事務所連携による合理的で美しい配材



木材利用量と炭素貯蔵量 : 環境貢献を数値化

■木材利用量

- ・ 杉、桧 製材 7,026本
- ・ 杉集成材 610本
- ・ 杉BP材 328本
- ・ 製品利用m³数 894m³

立木の利用量 約3,600m³

～6割が大子町産材
森林の更新が行われた

■炭素固定量

利用した製品量から換算しても

CO₂固定量は700 t

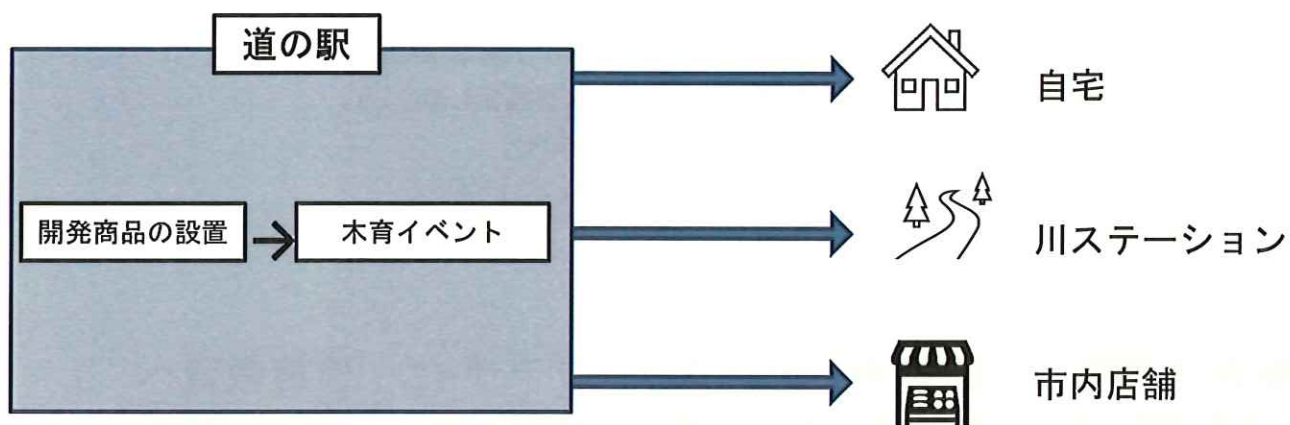


常総市様+県産材振興

～道の駅からサイクリングロードそして街中へ～

Copyright All rights reserved.





Copyright All rights reserved.

中学生と親子が市民イベントで作成
→ 市内のサイクリングロードに寄贈



Copyright All rights reserved.

②木材活用コーディネーター派遣

■平地林を含めた森林を活用するための専門家を派遣

- ・樹種や齢級で異なる木材の活用を適正に行い、CO2を固定しましょう。
- ・市町村有林や市町村民が持つ山林を活用するお手伝い。
- ・森林を開発する際、ただ伐採して捨ててしまうのはもったいない。
- ・対象の森や目的に合った活用を検討するための専門家を派遣します。

■森林運営、加工・利用、ランドスケープデザイン、環境教育へ

- ・販売：建築・家具・建具・外構材、きのこの楢木、暖炉用薪・ペレット、バイオマス燃料
- ・環境教育：ビオトープや庭に移植、木育活動、バイオネスト製作・利用



Copyright ©茨城県木材普及促進協議会 All rights reserved.

27

AIとドローンを用いた植生調査



Copyright ©茨城県木材普及促進協議会 All rights reserved.

開発によって伐採される木の有効活用

これまでは開発で伐採される木はごく一部の優良材以外は捨てられるか、ウッドチップとして燃料にするだけでしたが、茨城県産材普及促進協議会はよりCO2排出の少ない活用ルートをつくりました。



外構材



内装・建具材



木育キット



家具材

Copyright © 茨城県産材普及促進協議会 All rights reserved.

イベント協力

■木育体験

- ・ 枝や実を利用してアクセサリーやおもちゃ作り
- ・ 端材を利用してお箸や植木鉢、サイクルスタンドに。
- ・ 製材する時に出る樹皮を利用して染色体験

■森とつながる

- ・ 植樹祭
駅に使われた木が生まれた森に植樹する。
- ・ 森から街につながる。
～木を使ってまた植えるをポスターに。
- ・ 森から建築材料になるまで、全て無駄なく活かされている流れを体験



Copyright © 茨城県産材普及促進協議会 All rights reserved.

森林環境譲与税を活用できます

- 茨城県建築物木造化サポート事業の範囲を超えた場合、県産材活用を実施する場合、森林環境譲与税を活用することが出来ます。
- 茨城県産材普及協議会が実施またはコーディネートする事業の多くが、森林環境譲与税を活用できます

建築物の木造化・木質化だけでなく色々な事業に活用可能ですので、**まずは茨城県森林・林業協会にお問い合わせください。**

31

派遣申請書

茨城県産材普及促進協議会 会長 中村 公子	令和 年 月 日
ご依頼者	
木造建築コーディネーター派遣申請書	
下記のとおり、木造建築コーディネーターの派遣を申請します。	
記	
1 派遣年度 令和 年度	
2 建築物名称	
3 建築物の延床面積 ㎡	
4 担当課及び担当者名 課	
5 連絡先 住所 電話番号(内線番) メールアドレス	
6 依頼内容	



木造化・木質化を検討する際の問い合わせ先

公共建築物の木造化は適切に行うことができれば、コスト、環境、そして施設利用者への多くのメリットがあります。これまでご説明したサポート体制を活用し、ぜひ木造化を成功させていただければと思います。

木造化を検討する際は、ぜひお問い合わせください。

茨城県産材普及促進協議会

:TEL 029-35-6030

FAX 0297-35-1334

MAIL mail@ibarakinoki.com

茨城県農林水産部 林政課 林産物振興担当

:TEL 029-301-4026

MAIL rinsei3@pref.ibaraki.lg.jp

茨城県土木部 営繕課 企画

:TEL 029-301-4546

FAX 029-301-4569

MAIL eizen-p@pref.ibaraki.lg.jp

